

平成29年7月九州北部豪雨

これからの支援

～須磨から九州へ元気を送ろう～

須磨青空元気フェスティバルでは、ビンゴやくじといった企画を通して災害のあった地域へ寄付を行っています。

今年は、“須磨から九州へ元気を送ろう”というテーマのもと、大分県日田市にて支援活動を続ける“ひちくボランティアセンター”へ寄付を行います。



ひちくボランティアセンターFacebook より
<https://ja-jp.facebook.com/hivolu/>

ひちくボランティアセンター

2017年9月1日より開設された民間団体が運営する*ボランティアセンター。居住家屋での活動だけでなく、田畑での活動や地域住民が交流できる場を作る*足湯活動等を行っています。

“ひちく”という言葉は肥^ひ後^ご、筑^{ちく}前^{ぜん}、筑^{ちく}後^ごなど幅広いエリアをさす言葉で日^ひ田^た市のみならず、東^{とう}峰^{ほう}村、朝^{あさ}倉^{くら}市なども今後支援を広げていくことも視野に入れていることからこの名前が付けられました。

公式HP : <https://hichikuvc.wixsite.com/hivolu>



ボランティアセンター

ボランティア活動をしたい人とボランティア活動に来てほしい人をつなげたり、ボランティア活動に関する情報の収集をしたりするところ。市町村単位で設置される事が多い。

足湯活動

災害が起こった地域で被害を受けた方に足湯を行う事。温かいお湯に足をつけ、ボランティアと1対1でお話をする事で肉体的な疲れやストレスを少しでも解消してもらいます。

参考: 被災地NGO協働センターHP
http://ngokyodo.org/ashiyu_volunteer/index.html



○さいごに

みなさんはこの展示を見られて何か感じるものはあったでしょうか？もし展示を見る前と後で少しでも気持ちが変わった点があれば幸いです。

私自身、9月に大分県日田市を直接訪れた際に多くのことを感じました。想像以上の被害の大きさ、継続的な支援の必要性や地域の方々のつながりの強さなど、数えきれません。

しかし一番強く感じた事は、自分は何も知らなかったということでした。

復旧への道のりはまだまだ続き、多くの支援が必要になります。遠く離れたところにすむ私達も様々な支援ができるでしょう。しかし、現地のことを知らなければ、支援が必要な事に気づけなかったと思います。

皆さんにも被災地の様子を少しでも知ってもらいたいという想いでこの展示を行いました。ぜひ被災地のことを知って少しでも思いを馳せていただければと思います。

一刻も早い復旧を願ってこの展示を終わりにしたいと思います。見ていただきありがとうございました。

神戸大学学生震災救援隊代表 江藤